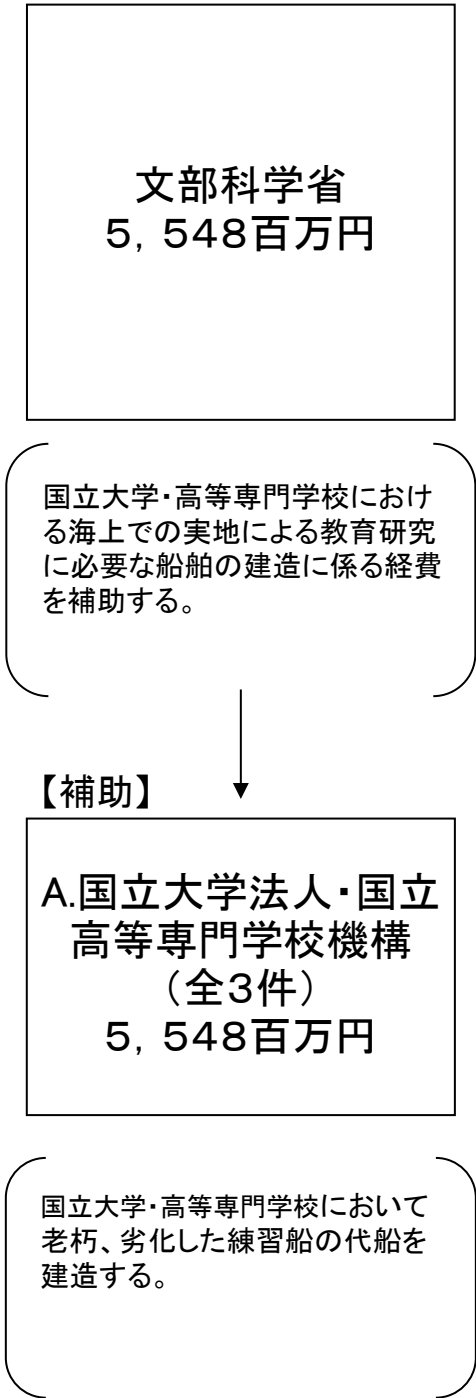


	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	国立大学・高等専門学校における練習船の整備			担当部局庁	高等教育局		作成責任者
事業開始年度	平成16年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	専門教育課		専門教育課長 梅原 弘史
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	国立大学法人法第35条 独立行政法人通則法第46条 大学設置基準39条 海洋基本法第28条			関係する 計画、通知等	海洋基本計画(平成30年5月)		
政策	4. 個性が輝く高等教育の振興			主要経費	教育振興助成費		
施策	4-1 大学などにおける教育研究の質の向上						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-16.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	国立大学・高等専門学校が行う船舶の建造に要する経費に対して補助を行い、もって大学・高等専門学校の教育研究に対する国民の要請にこたえとともに、我が国の高等教育及び学術研究の水準の向上と均衡ある発展を図る。						
現状・課題 (5行程度以内)	国立大学・高等専門学校が保有する練習船について、耐用年数の大幅な超過や機器の老朽化、女性乗船者のための設備及びスペースの確保といった課題に対応する必要がある。						
事業概要 (5行程度以内)	国立大学・高等専門学校の事業運営に資するため、海上における実地の教育研究に必要な船舶の建造に係る経費を補助することにより、水産学、商船学など海上における実地の教育研究が不可欠な分野の基盤の整備を図り、実践的な人材養成及び高度な学術研究を推進する。老朽化が進行した船舶は故障が頻発し、また、教育研究機器等の性能も旧来のもので、安全な航海、円滑な教育研究に支障を来していることから、代船の建造を実施することにより、安全かつ円滑な教育研究環境を確保する。						
事業概要URL	-						
実施方法	補助						
補助率等	定額 (補助対象:国立大学法人及び国立高等専門学校機構が行う船舶(練習船)の建造に要する経費)						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	5,671	-	-	-	-
		補正予算(B)	3,987	4,547	3,926	5,106	
		令和5年度第1次補正予算				5,106	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	4,437	8,265	5,548	3,926	-
		翌年度へ繰越し(D)	▲ 8,265	▲ 5,548	▲ 3,926	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	5,830	7,264	5,548	9,032	-	
	執行額(G)		5,831	7,265	5,548		
	執行率(%) =(G)/(F)		100%	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		60%	160%	141%		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)						
		(目)					
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		十分な耐航性能と安全性を確保するための代船建造に必要な経費を措置する。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		老朽化が進行した船舶の代船建造	代船建造を実施する国立大学・国立高専の数	活動実績	機関	1	1	1	-	-	
				当初見込み	機関	1	1	1	1	1	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	各国立大学・高等専門学校が代船建造に取り組んだ結果、順調に工事が進み、着実に代船建造が行われたかを確認する。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 - 年度		
		老朽化が進行した練習船の代船建造	建造が完了した代船の数	成果実績	隻	-	2	2	-		
				目標値	隻	2	1	1	-		
				達成度	%	-	200	200	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		事業実施大学・高専への状況調査(文部科学省調べ)									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	新しく建造された練習船が、どれくらい人材育成に貢献したかを確認する。									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		水産学や商船学分野における実践的な人材育成	練習船を利用した実習生数	成果実績	人	6,009	8,476	11,320	-		
				目標値	人	12,162	6,009	8,476	-		
				達成度	%	49.4	141.1	133.6	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		練習船を有する国立大学・国立高専への状況調査(文部科学省調べ)									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		-									

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」においてブ ロックごとに最大の金額が 支出されている者について 記載する。費目と使途の双 方で実情が分かるように記 載)	A.			B.		
	費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
	船舶建造費	建造経費等	2,503			
	計		2,503	計		
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

